

平成29年3月13日

保護者様

横浜市立山内小学校  
校長 基野 啓司  
児童いじめ防止委員会

## 第3回山内小児童いじめ防止委員会の報告

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

3月1日(水)に、3年生以上のクラス代表、教職員が本校体育館に集まり、「第3回山内小児童いじめ防止委員会」を行いました。

第3回の話し合いについてご報告させていただきます。

【テーマ】 だれもが安心して生活できる いじめがない山内小をつくろう

【参加者】 3年生以上クラス代表児童各2名  
教職員

【内 容】 「今年度のふり返り」  
クラスの取り組みをふり返り、成果と課題について意見交換する。  
「次年度に向けて」  
山内小学校をよりよくするために、今後できそうなことを話し合う。

【報 告】

各グループの話し合いから

「今年度のふり返り」

- ゆずり合う場面が多くなった。
- いじめに対する一人ひとりの意識が高まった。
- 自分達で解決できないことは先生に必ず相談している。
- 友達にあいさつができています。雰囲気もいい。
- 声をかけが増え、ひとりぼっちの友達がいなくなった。
- ゲームでは、勝ち負けよりもみんなで楽しむ雰囲気がある。
- クラスの中で、だめなことをだめだと言える雰囲気が出てきた。

「次年度に向けて」

- ふわふわ言葉を意識して使う。言葉づかいに気をつける。
- グループをつくらずにいろいろな人とかかわる。
- 相手の話をしっかり聞く。相手の立場を考える。
- 失敗した時ほど、やさしく声をかける。
- 知らない人にも気軽に声をかけて、友達の輪を広げていく。
- 学年、クラスにこだわらず、山内タイムのようなつながりを大切にする。



各グループの話合いの後、6年生の代表児童が今年度のふり返りを発表しました。

これまで、わたしたちいじめ防止委員のメンバーは、山内小でのいじめをゼロにするために、各クラスで様々な取組を行ったり、情報交換をしたりしてきました。

青葉警察署の方や学校カウンセラーの先生、PTAの方々との話合いは年2回行い、私たちの取組に対して貴重なご意見をいただきました。月1回の各クラスの代表者が集まる話合いでは、自分のクラスについてふり返ったり、他のクラスの取組を聞いて自分のクラスに取り入れてみたりと、活発な情報交換が行われていました。

わたしたち6年生は、あと少しで卒業します。1年生から5年生のみなさんには、力を合わせていじめのない山内小をこれからもつくり上げていってほしいです。今年はいじめ防止委員会の経験を生かして、クラスレクを積極的に行ったり、いじめをなくすための行動を話し合ったりして、みんながいじめについて考え、行動できるようになってほしいです。

わたしたち6年生は、この活動を通して学んだことを忘れずに、中学校生活へと生かしていきたいです。

山内小児童いじめ防止委員会 6年代表

#### 【学校長より】

「いじめをしない」「ゆるさない」という気持ちを一人ひとりをもつことが大事です。いじめは身近に起こるものであり、意識を高くもつことが必要です。さらに、「いじめをしない」という努力をすることも大事です。「自分はしないぞ」「見て見ぬふりをしないぞ」という強い決意と努力が、いじめをなくすことへとつながります。みなさんで、「安心できる学校」をつくっていきましょう。



#### 【参加者の感想】

- いじめをなくすためには、一人ひとりが「いじめをなくそう」という意識をもつことが大切だと思いました。
- 各クラスでいじめをなくす取組を続け、いじめのない山内小にしたいです。
- わたしはいじめ防止委員会に入って、みんなと仲良くする方法がたくさんあることに気づきました。
- 小さなことから取組を進め、山内小の雰囲気をよくしたいです。



#### 【おわりに】

今年度、山内小学校は、「だれもが安心して生活できる、いじめがない学校」をテーマに、いじめの未然防止に取り組んできました。その一環として、山内小児童いじめ防止委員会を立ち上げ、児童が主体的にいじめ問題について考え、活動を推進していく取組を行ってきました。今年度をふり返り、成果と課題を精査しながら次年度の活動へとつなげてまいります。

いじめ防止には、家庭や地域のご協力が不可欠です。今後とも、児童の健全育成にお力をお貸しいただきますようお願いいたします。